

授 業 名 授 科 目	義肢装具学I	授 業 形 態	講 義
		配 当 学 期	2 年 (前 期)
担 当 教 員 名	中 村 侑 造	単 位 数	1 単 位
		時 間 数	30 時 間
授 業 概 要 学 習 目 標	<p>〔授業概要〕</p> <p>装具療法は理学療法士が行う治療の一旦を担い、変形の予防や矯正といった更生用装具の役割だけでなく医療用装具としての役割も高まっている。</p> <p>装具の基本的知識だけでなく、運動療法と併用するうえでの調整方法や、装具作成における他職種との関わり方などについて学習していく。</p> <p>〔学習目標〕</p> <p>義肢・装具の理論の上に、作製法や現物を用いた構造・力学の理解を修得する。</p> <p>下肢装具を用いた運動課題の難易度調整などについて理解する。</p>		
授 業 回 数	授 業 の 内 容		
第 1 回	装具学総論		
第 2 回	下肢装具の構成部品とそのチェックアウト		
第 3 回	足継手の制御機構		
第 4 回	脳血管障害に対する装具療法		
第 5 回	対麻痺の装具療法		
第 6 回	整形外科的装具		
第 7 回	脊椎疾患の装具		
第 8 回	末梢神経障害の装具		
第 9 回	側弯症の装具		
第 10 回	小児疾患の装具		
第 11 回	関節リウマチの装具		
第 12 回	靴型装具		
第 13 回	給付制度		
第 14 回	各種疾患と装具		
第 15 回	総括		
評 価 方 法	期末試験にて評価を行う。(100%)		
教 科 書 参 考 図 書	〔教科書〕 PT・OT ビジュアルテキスト 義肢・装具学 羊土社		
履 修 上 の 留 意 点	基本的な知識を押さえつつ、疾患と装具の特性について理解できるように。		
メ ッ セ ー ジ	装具の構造・機能や適応疾患を学ぶ事で、実技での知識活用へ繋げてください。		